

【報告⑧】

担当課	農林課 農業振興班
交付対象事業名	有害鳥獣対策事業
事業概要	近年増え続ける有害鳥獣により、我が町の農産物被害件数 185 件、被害金額は 200 万を超え（H25 実績）、その結果、生産者の農業生産額は減り、また耕作意欲も減ってきているのが現状である。よって、この鳥獣被害を食い止めるために、有害鳥獣捕獲隊の充実が急務である。今後、有害鳥獣対策を中高年層の新たな仕事づくりの場として事業展開を図る。関連して、この捕獲隊の活躍により現在の農業従事者の継続、生産量の向上につなげる。

本事業における重要業績評価指数（K P I）に関する成果及び検証

農作物等の鳥獣被害を食い止めるため、有害鳥獣捕獲隊によるイノシシの有害駆除を年間を通し実施した結果、平成 27 年度の農作物等の被害件数は 25 件、被害金額は 110 万となり、大幅に減少した。今後、より一層の被害を防止できるよう活動を強化し、効果的・効率的に推進するため、平成 28 年 4 月 1 日付で、条例による村田町鳥獣被害対策実施隊を設置し、24 名の隊員（内新規隊員 4 名）を任命した。また、実施隊を設置したことで非常勤の公務員となり、報酬や公務災害に対する補償を条例で定めることで身分が保証され、安心して有害駆除活動に専念できるため、今後の新規隊員の確保に期待できる。

実施計画記載の重要業績評価指数（K P I）	成果及び検証とその根拠について
有害鳥獣捕獲隊新規隊員数：1 名	鳥獣被害対策実施隊新規隊員数：4 名
有害鳥獣捕獲隊の収入向上	条例で報酬を定めた
有害鳥獣被害に対する農業従事者の不安の解消	捕獲頭数の増加により農作物等の被害が減少し、不安の解消された
有害鳥獣捕獲数：100 頭	有害鳥獣捕獲数：141 頭

村田町地方創生推進委員会からの主な意見

- 捕獲したイノシシをジビエにできると更によいが、宮城県内は放射能関連で出荷規制があるので、今後に期待する。
- 若い方が捕獲隊員になったということが良い。